



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2012～2013年度 RI会長 田中 作次
RIテーマ Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

クラブテーマ「チ・カ・ラを出そう」会長 太田政人

副会長 山本良一 幹事 石井司人

第1098回 例会
2011.07.13(金)曇

司会:久保栄子君 指揮:久保栄子君
ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 太田政人君



信じられない程の大雨で九州では大きな被害が出ています、心よりお見舞い申し上げます。

さて、2012-13年度RI会長は埼玉県の八潮ロータリークラブの田中作次さんです。

日本からは30年ぶり3人目のRI会長となります。ちなみに八潮RCは1975年に創立し当初の会員は32名、最大会員数は1991-94年の54名で現会員は46名です。田中さんは1939年生まれ今年で73歳、職業は化粧品・日用雑貨卸の会社の相談役を勤めています。八潮RCのチャーターメンバーで1979-80年度八潮RC会長、1994-95年度2770地区ガバナー、その後RI理事等を経てRI会長に就きました。田中RI会長はRIテーマとして「奉仕を通じて平和を」を選択し、メッセージとして次のように述べています『日本が平和を選ぶ大きな決断をした結果、日本は成長と繁栄を遂げることができたと思います。そのおかげで、子どもたちの世代が安全な環境で成長し、教育を受け、暮らしを向上させることができたのです。他の国や文化に対する日本人の見方は根本的に変わりました。日本人は心を開き、より寛容になり、もっと深く世界を理解するようになりました。さらに、私たちは前向きな目標に力を注ぐことができるようになりました。個人のニーズより社会のニーズを重視するのは、日本の文化と切り離せない、伝統的な価値観です。大地震と災害後、私たちが生き延び、復興に努力できたのも、この価値観があったからです。

2012-13年度には、「平和」が私たちの焦点であり、目標です。皆さんには、「奉仕を通じて平和を」もたすため、積極的に活動していただくようお願いいたします。』

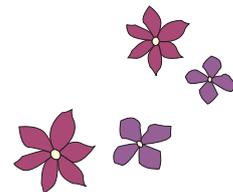
出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	34/35	97.14%	34/35	97.14%
今回	29/34	85.29%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

田中君、根津君、矢岸君、山口(雅)君、渡邊君

おめでとう

入会記念日 7月1日 杉山順一君
7月2日 加藤正幸君



幹事報告

幹事 石井司人君

- 7月15日に甲府にて会員増強セミナーが開かれ、太田会長と土屋増強委員長が出席されます。又、8月11日には財団セミナーが予定されていて、太田会長・中村クラブ研修リーダー・山口雅弘財団委員長に出席していただきます。

ロータリーは親睦団体？奉仕団体？

中村 徹君

今日は東北大震災復興支援委員会の活動計画が兼子委員長より報告があり、またこのあとは職業奉仕委員会による奉仕作業があるとのことで、表題のようなテーマ「ロータリーは親睦団体？奉仕団体？」で、手短にお話させていただきます。

来週には、クラブ研修リーダーの今年度活動計画を発表させていただきます。

ロータリーで言う親睦とは、英訳すると、フレンドシップではなく、フェローシップのことを言います。

つまり、「何かを一緒に行く」「同じ趣向を持っている人々の中で生まれる友情の気持ち、すなわち仲間意識、連帯感」という意味です。

ロータリーの創立の原点であるフェローシップは、本当に心から、何でも話し合える友人を作りたいというのが、ポールハリスの考えであり、ロータリーを作った、目的でありました。

現在では、ロータリーの目的は「奉仕理念を育成し、これを奨励実践する」事である。

フェローシップはあくまでその前提条件であるとしています。週一回の例会でお互いに、友情を温め合い、親睦を深め、切磋琢磨して、奉仕理念を学ぶ、としています。

親睦の第一歩は呼び掛けであり、親睦委員は30分前に会場入りし、率先して兼子パスト会長には、声掛けしていただきたいものです。

ロータリーでの親睦は、ロータリーの一丁目一番地と言われています。

ロータリーの奉仕も、諸活動も、すべて親睦があつてのこと。

「親睦に始まり、親睦に終わる」、「親睦なくして、奉仕なし」です。

ロータリーでは、親睦も奉仕も手段であり、目的は「人を育てること」です。

全人類を立派な人に育てる事によって、世界平和を実現しようというのがロータリー運動です。この夢を少しでも現実に近付けるために、出来る事をやっている人々をロータリアンといいます。

今日の奉仕作業がスムーズに進みますよう。応援メッセージとしました。



会員組織委員会

委員長 土屋 巧君

私たち2620地区全体では、年間100人程度の会員が辞められているのが近年の状況だそうです。会を盛り上げていくためには会員の増強が必要条件と考えております。幸いなことに、ここ数年、我がクラブは新会員が増加し、なお且つ、若い会員が多く加入して頂いておりますので非常に好ましい傾向にあると思われまふ。この流れを大切にしつつ、より一層の増強ができればと考えております。

具体的には以下のような目標、行動を取りたいと考えております。

- 1.年間会員純増目標3～4名
- 2.入会審査の厳格化と入会後のフォローアップ体勢の確立
- 3.例会へのゲスト勧誘方法の検討
- 4.親睦委員会等との連携による会員増強策の検討

新ガバナーはクラブを「open to all」で盛り上げてくださると仰っておりました。開かれたクラブ、楽しくも結束の強いクラブを構築するべく努力してまいります。会員皆様の協力無しには成り立ちません。自分たちの仲間を増やすために是非クラブ全体での協力を切にお願いいたします。

会計・クラブ細則検討委員会

委員長 石井邦夫君

クラブ運営は会員の会費で賄われていますが、予算は会員数により増減する限られた金額ですので、大切にいたしますよう皆様の御協力をお願いいたします。

東日本大震災復興支援委員会

委員長 兼子悦三君

2011-2012渡邊会長年度に計画された東日本大震災復興支援委員会の活動については、同年度に現地調査を行いましたので、本年度は次のように事業を推進いたします。

- ①岩手県大槌町の大槌ロータリークラブとの提携の中で、小・中学校の学校図書贈呈を行う。2011-2013年度(2年間)予算(600,000円)を寄贈する。
- ②中古図書の寄贈を行う。大槌町教育委員会に送付して選別してもらう。
- ③当クラブが行っている「三年後の自分への手紙」事業について、大変興味を持っているので、これに対して実施するなら協力を行う。
- ④チャリティコンサート(岩手県山田町への協力)については、当クラブの主権で推進する(チケット販売等)。推進責任者:西原克甫副委員長

第1回理事役員会報告

平成24年7月6日 金曜日・19時30分～20時
ブケ東海三島

出席者 太田政人・石井邦夫・山口雅弘・
兼子悦三・山本良一・宮澤正昭・
根津延和・久保栄子・渡邊照芳・
小林 勝・石井司人・岡 良森

欠席者 加藤正幸・

司会者・石井司人・記録者・加藤正幸(代)石井司人・

①3年後の手紙の発送の件・

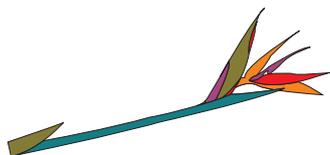
アンケートを同封する作業を7/13例会の時間を使用したい・

承認・

②地区の補助金の件・

大づち町の支援に対する補助金申請をする予定・

承認・



スマイルボックス

山口雅弘君:本日会議の為例会欠席となりすみません。スリウォンRC塩谷会長より自転車委員会の報告をいただきましたので、発表いたします。

2012年度タイへの放置自転車贈呈事業は10日スリウォンRC自転車委員会にてチェンマイに決定したそうです。日程は11月23日頃(あくまで予定)となります。自転車自体が現在入ってきていない様ですが、6コンテナ入港予定だそうです。今後皆様にご協力を仰ぐ事となりますが、よろしくお願いたします。ご質問、お気づきの点がありましたら山口までご連絡ください。

小林 勝君:本日、長伏グランドにて土屋巧君の会社サクラ会計と我社とでソフトボールの試合を反省会の代金を賭けて行います。数年前にも行い負けております。今回は必勝を期してスマイルします。

岡 良森君:本日は“3年後の手紙”発送作業です。よろしくお願いたします。

杉山 隆君:休みがちですみません。組合等の理事になってしまったので時間調整ができませんでした。頑張ります。

PHOTO GALLERY

